

CHECK!! チケット & 申し込みインフォメーション



けん玉体験教室

2023年
1月28日(土) 13:30

小川文化センターアピオス 小ホール

- ◇料金：300円
- ◇講師：トーゴ ◇定員：30名程度(先着順)
- ◇申込方法：電話もしくはアピオス窓口にてお申込ください
- ◇対象：小学1年生以上 ◇体験用けん玉もお貸し出ししています

申込受付中! 0299-58-0921(アピオス)



みの〜れ住民劇団「演劇ファミリーMyu」
はっぴい☆ぶろじょくと
こどもミュージカルたいけん

2023年
1月29日(日) 14:00

四季文化館 みの〜れ 風のホール

- ◇参加無料 ◇ワークショップリーダー：廣木葵
- ◇申込方法：電話もしくはみの〜れ窓口にて申込
電子申請からも申込可能です(右の2次元コード)
- ◇対象：新小学生以上 ◇募集人数：25名(定員になり次第終了)



12月3日(土)~申込受付開始! 0299-48-4466(みの〜れ)

ひととアピオス

アピオスばるず 広報部門 福田智彦さん

全国トップ5に輝いた広報おみたまの特集の企画の立て方、魅力的な写真の撮り方、レイアウトの作り方に興味があり、市企画調整課シティブロモーション係の代々城衣里さんに依頼し、実技を交えた研修を行いました。

写真を撮る際は、カメラを構えながら表情が緩むような会話を心掛けて一瞬のチャンスを狙うこと。写真を切り取るトリミングはパワーポイントでもできること。インタビューはいきなり本質の質問をせず和むような会話から入ることなどのコツを教わりました。

「情報は『伝える』ではなく『伝わる』ことが大切です」と語る代々城さん。熱意と誇りを持って広報おみたまを作っていることが伝わってきて、その姿勢が非常に刺激になりました。(談)



2023年1月の催し

※営利目的ではなくどなたでも入場可能で「文化芸術イベント情報掲載申込書」にて申込みをした催しのみ掲載しております。
※このスケジュールは2022年11月11日に作成したものです。新型コロナウイルスの影響により中止(延期)の可能性があります。

開催日	日	イベント	開演	場所	主催・問い合わせ先	料金
1月8日~1月21日	日	陽だまり広場V.o.98 陽だまり広場企画展 令和4年度 茨城県芸術祭美術展覧会 出展作品展示	9:00~17:00 最終日~13:00	アピオス ロビー	アピオス 0299-58-0921	無料
1月10日~1月26日	火	陽だまり横丁vol.189 絵とあ〜る 絵画作品展	9:00~21:00 初日13:00~ 最終日~13:00	みの〜れ ホワイエ	みの〜れ 0299-48-4466	入場無料
1月15日	日	宝くじ文化公演 秋川雅史・夏川りみハートフルコンサート	15:00	アピオス 大ホール	アピオス 0299-58-0921	前売2,000円 当日2,500円
1月28日	土	茨城県立取手松陽高等学校 第26回 卒業演奏会	13:30(予定)	みの〜れ 森のホール	茨城県立取手松陽高等学校 音楽科 郷様 0297-77-8934	入場無料
1月28日	土	けん玉体験教室	13:30~	アピオス 小ホール	アピオス 0299-58-0921	300円 (要事前申込)
1月29日	日	みの〜れ住民劇団演劇ファミリーMyu はっぴい☆ぶろじょくと	14:00	みの〜れ 風のホール	みの〜れ 0299-48-4466	無料 (要事前申込)
1月30日~3月25日	月	ときめき美の小径 第16回企画展『感謝~ありがとう』	9:00~21:00	みの〜れ 館内通路	みの〜れ 0299-48-4466	入場無料

2023年1月と 年末年始の 休館日

アピオス	みの〜れ	コスモス
12月28日(水)~1月4日(水) 毎週月曜日(月曜が祝日の場合はその翌日)	12月28日(水)~1月4日(水) 1月16日(月)、1月24日(火)	12月28日(水)~1月4日(水) 毎週月曜日・祝日(月曜が祝日の場合はその翌日)

みの〜れ20歳記念ミュージカル「黄色い袋と魔法のトンネル」のピンスポット操作を、美野里中演劇部の荷見くんと2人で担当しました。荷見くんはプレッシャーがかかる中とてもよく頑張りました。観客を感動の渦に巻き込んだリレートークも、美野里中演劇部、吹奏楽部が活躍。とても立派でした。未来ある子どもたちが活躍するみの〜れを誇りに思います。<赤上恵>

おみた
Magazine
169号

令和4年11月24日

編集：みのんば編集局
(四季文化館みの〜れ内)
発行：小美玉市生活文化課
〒319-0132 茨城県小美玉市部室1069
TEL: 0299-48-4466

小美玉市の文化情報はホームページ・SNSでも発信中です!

アピオス

みの〜れ

コスモス

ホームページ
2次元コード

ホームページ
2次元コード

ホームページ
2次元コード

小美玉市の文化情報はなんでもおまかせ!

おみた Magazine

視 みのり太鼓 ドドンと重ねて 30周年!



みのり太鼓はおかげさまで30周年を迎え、3年ぶりの
単独演奏会を開催!小美玉市から全国を翔ける
演奏とパフォーマンス、そして30年間の歴史を
振り返る舞台となります。ぜひご来場ください!

<みのり太鼓会長 篠原孝司>



響け! 轟け! ありがドーン!!

2023年2月26日(日) 13:30

四季文化館 みの〜れ 森のホール

チケット発売日

2022年12月3日(土) 10:00~

◇料金:1,500円 ※満4歳以上対象
◇全席自由

お問い合わせ 090-8315-3233(山本)

みのり太鼓×ライフスタイル

みのり太鼓と出会い、共に歩み輝きで満ちあふれている生活。そんなみのり太鼓のメンバーに出会いと30周年に向けての想いを聞いてみました。



やまもと きみこ
山本 貴美子さん

30年前、家族で引越してきたばかりの山本さんは、旧美野里町で太鼓グループの募集を見つけ、この地域のことが知りたい、人々と交流が図りたいと思い応募しました。30年続けているのは、現会長の篠原孝司さんと山本さんだけ。和の音楽は基本譜面がなく、身体に繰り返し覚えさせ、曲によっては都度アレンジしてきているので面白いと話します。「30年は1つの通過点です。年月は組織を強くさせた。私自身は、日々メンバーが努力して練習している様子を見るのが好きで、それが30年続いただけ。会長は、『創作』を大事にしている。共感できて気持ちいいんです」とにこやかに話してくれました。
＜野手利江＞



おおば しゅん
大場 瞬さん

みのり太鼓に入団したきっかけは、小学校1年生の終わり頃、兄と一緒に見学に行ったときに「お兄ちゃんも太鼓をやるから一緒にやりなさいと母に言われて…」と大場さん。10周年記念公演に出演したときは6年生で篠原さんたちに教えてもらっていました。太鼓歴25年の今は、教える立場になり小学生の子どもたちを見ていて「自分もそうだったんだなあ」と思いながら接しています。来年2月に行われる30周年記念公演にむけて学生、社会人メンバーとの練習時間の調整が難しかったりしますが、今まで自分たちが思っていたやり方や向き合い方を考えて練習するようになりました。「家族のサポートがあれば太鼓はずっと続けていきたい」と話してくれました。
＜藤田佐知子＞



すさ わかな
諏佐 和香菜さん

学童で小学校1年生から和太鼓を始めた諏佐さんは、5年生のときに篠原孝司さんから声をかけてもらい、みのり太鼓を見学。メンバーの植田麻子さんがかっこよく太鼓を叩く姿に憧れて入団しました。「目上の人に対する作法が身に付いたというのが一番ですね」と話します。30周年記念公演にむけて「自分が関わる曲も多く、初めての曲も何曲かあるので一生懸命頑張ろうと思っています。今まで友達を呼んだことがなかったのですが、今回はぜひ友達を呼びたいと思っています」とにっこり。和香菜さんの母親は、「演奏会を観に行くのが楽しみ。みんな輝いているので娘もそうなって欲しいです」と話します。
＜藤田佐知子＞

ひと 人を支える ひと

おおば かずお
大場 和男さん

当初は子どもの送迎でしたが「8年前、みのり太鼓の稽古場が火事に見舞われたとき、退職したばかりの私は、会のためにやれることは何でもやろうの気持ちになりました」。その後、父母の会・世話人会をリード。「茨城県ベトナム友好協会の支援を受け、ベトナム大使館から招待され、ベトナムホナンで2日間5回公演することができました。地域の皆様に助けられ、乗り越えられて、本当に良かったです。今後も『文化の力』で地域を支える重要性を考えていきたい。協力していきたい」と力強く話してくれました。
＜野手利江＞



取材：藤田佐知子

REPORT アピオス40歳記念事業



2022.10.30 アピオス



この10年間のアピオス企画を代表するコーナーが並びました。カラオケバトル・おやこDEジャズ・ダンス体験教室・地元特産野菜の販売とキッチンカー。「アピオスといったらコレだよ！」とお客さんも40歳の記念日を満喫しました。若い参加者が増えてきて、これからどんなアピオスに成長するのか楽しみにしていました。
＜瀧澤比佐乃＞

REPORT みの〜れ20歳記念事業



2022.11.3 みの〜れ



みの〜れライフを楽しむ4組のリレートークは、みの〜れ誕生の喜びや、出会ったことで人生が大きく変化したことへの感謝などが語られました。美野里中学校吹奏楽部が演奏し、演劇部が呼びかけをして彩りを添えました。この素晴らしいステージは参加していた人たちの心の奥までひびき、まるで映画のワンシーンのように熱い思いが伝わってきました。
＜藤田佐知子＞

REPORT 黄色い袋と魔法のトンネル



2022.10.15-16 みの〜れ

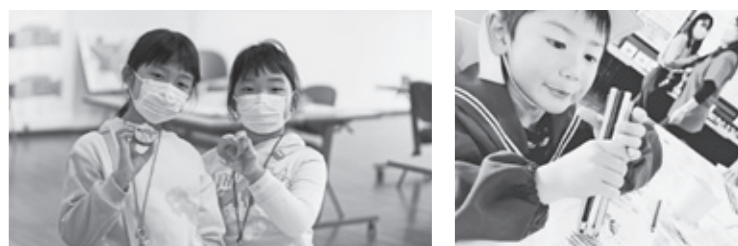


小美玉市の遠州池・池花池を舞台にしたオリジナルミュージカルが、キャスト・スタッフ総勢100名以上で上演。みの〜れと共に20年間育ててきたMyuが創り上げた舞台に、観客は「物語の世界に引き込まれた」「ヘビと闘うシーンなど迫力がありハラハラした」「笑って泣いて感動した」と大絶賛。カーテンコールが4回も続き、鳴り止まない拍手と歓喜に包まれました。
＜加藤篤子＞

REPORT BIRDぬり絵アーティストたちの芸術展



2022.10.29-11.5 みの〜れ



「BIRD」をテーマに、11のアートイベントに参加できるワークショップが開催されました。鳥の音が聞こえる会場で、ぬり絵やみの〜れの森で伐採した枝でつくる巨大なBIRDを完成させたりと、子どもから大人までが夢中になり、自分だけのBIRDを作っていました。BIRDクリエイターの大嶽さんと、個性あふれるBIRDが生まれた笑顔の一週間でした。
＜加藤篤子＞